

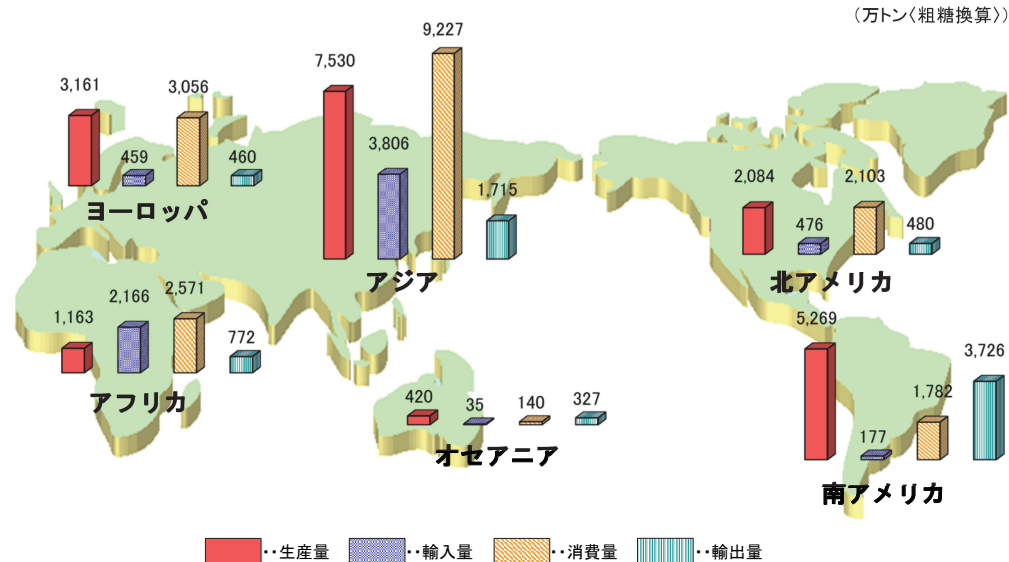
砂糖の国際需給



調査情報部

1 世界の砂糖需給（2026年6月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2025/26年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2026」を基に農畜産業振興機構作成
注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

（単位：万トン〈粗糖換算〉、％）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1995/96	5,221	12,220	3,403	11,628	3,691	5,526	47.5
2000/01	7,099	13,143	3,845	13,089	4,148	6,850	52.3
2005/06	6,599	15,129	4,763	15,015	5,042	6,434	42.9
2010/11	6,056	16,721	5,441	16,544	5,868	5,808	35.1
2015/16	8,241	17,519	6,902	17,931	6,936	7,795	43.5
2020/21	8,914	18,204	6,749	18,604	6,814	8,449	45.4
2021/22	8,449	18,639	7,004	18,927	7,123	8,043	42.5
2022/23	8,043	19,070	7,151	19,100	7,161	8,002	41.9
2023/24	8,002	19,566	7,662	19,049	7,700	8,480	44.5
2024/25	8,480	18,942	7,303	19,004	7,385	8,336	43.9
2025/26 (2026年6月予測)	8,336	19,627	7,119	18,879	7,480	8,723	46.2

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, June 2026」
注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
注2：2023/24年度および2024/25年度の数値は推定値、2025/26年度の数値は予測値。
注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。
注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

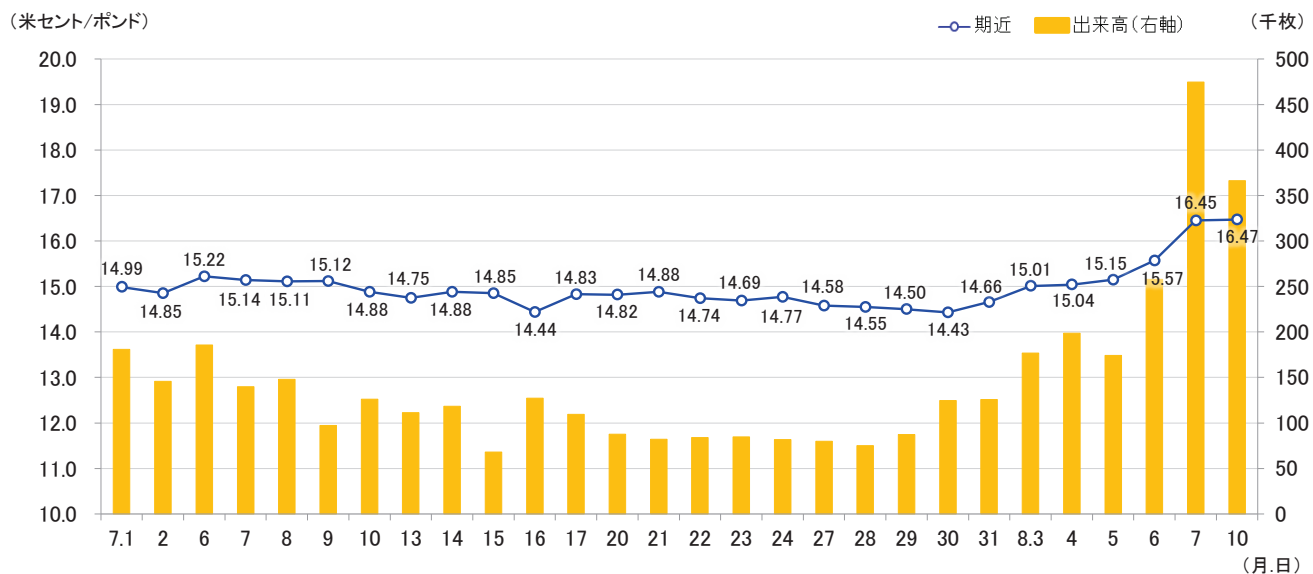
「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2026年10月号の掲載となります。直近の内容は2026年7月号をご参照ください。
「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003564.html
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003565.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（7/1～8/10）

～8月に入り世界的な砂糖供給不足の見通しにより1ポンド当たり16セント台まで上昇～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近10月限の値。

2026年7月のニューヨーク粗糖先物相場（10月限）の推移を見ると、1日はインドの減産懸念により、1ポンド当たり14.99セント（注1）をつけた。2日以降はレアル高（注2）と原油安（注3）により変動した後、15日以降はインドの雨不足によるサトウキビ減産の懸念が和らいだことから、16日は同14.44セントと下落した。17日以降はインドの減産懸念緩和による下落圧力が続く中、主に原油相場により変動し、31日は同14.66セントをつけた。

8月に入ると、3日は世界的な砂糖供給不足の見通しにより、同15.01セントと上昇した。4日以降は世界的な砂糖供給不足の見通しによりさらに上昇し、10日は同16.47セントをつけた。

（注1）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注2）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

（注3）一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物（サトウキビ、てん菜など）のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品（サトウキビの場合は砂糖）の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を及ぼす各国の動向（2026年8月時点予測）

以下、特段の断りがない限り GlobalData UK Ltd. による予測に基づく記述であり、砂糖に関する数量は粗糖換算である。

1 トン当たりの輸出価格はFOB価格（Free on Board：貨物が輸出国の船上に置かれた時点までの費用を含めた価格）であり、1 トン当たりの輸入価格はCIF価格（Cost Insurance and Freight：保険料・運賃込みの価格。関税額等は含まれていない）である。

ブラジル

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：915万ha（前年度比0.7%増）

生産量：6億9970万トン（同4.9%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：4569万トン（同2.3%減）

輸出量：3501万トン（同4.1%減）

26/27年度の砂糖輸出量はやや減少見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、915万ヘクタール（前年度比0.7%増）と前年度からわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、降雨による収穫遅延が発生しているものの、単収増加が予測されることから、6億9970万トン（同4.9%増）とやや増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産が予測されるものの、ATR^{（注）} および砂糖仕向け割合は前年度を下回って推移していることから、4569万トン（同2.3%減）とわずかな減少が見込まれている。なお、

エタノール仕向け割合は、前年度を上回って推移している。砂糖輸出量は、3501万トン（同4.1%減）とやや減少すると見込まれているが、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が見込まれている。現地報道によると、同国のエネルギー政策諮問委員会（CNPE）は7月14日、ガソリンへのエタノール混合率を30%から32%へ引き上げることを承認した。この引き上げは8月1日から適用されている。

（注）1 トン当たりの平均回収糖分。ポルトガル語でAçúcar Total Recuperável（総回収可能糖量）の略。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

年度		2023/24	24/25	25/26	26/27 （7月予測）	26/27 （8月予測）	前年度比 （増減率）
サトウキビ収穫面積		841	884	908	915	915	0.7
サトウキビ生産量		71,313	67,868	66,675	69,970	69,970	4.9
砂糖	生産量	4,932	4,719	4,675	4,630	4,569	▲ 2.3
	輸入量	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	23.6
	消費量	1,097	1,075	1,068	1,068	1,068	0.0
	輸出量	3,739	3,618	3,652	3,562	3,501	▲ 4.1
	期末在庫量	320	347	302	303	303	0.1
	期末在庫率	6.6	7.4	6.4	6.5	6.6	0.2ポイント増

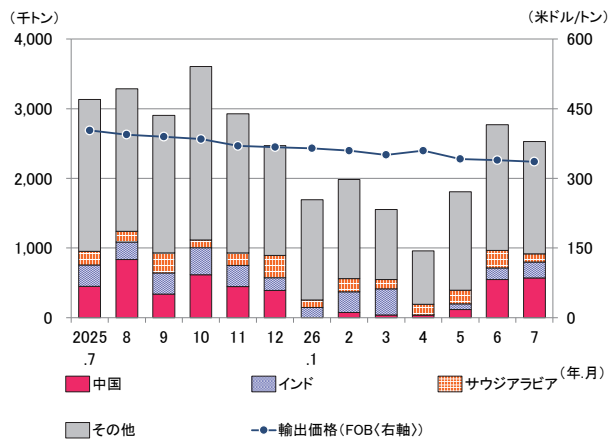
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

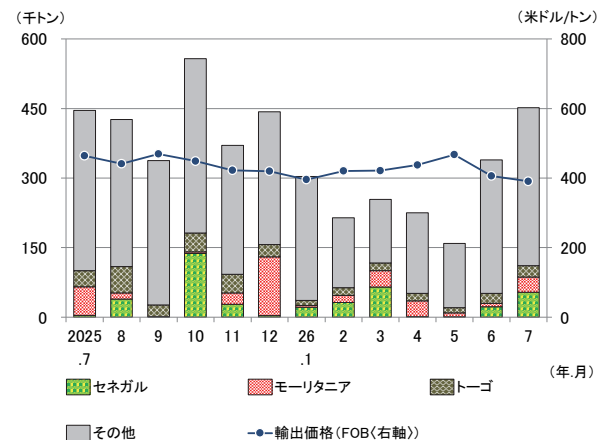
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



インド

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：575万ha（前年度比0.9%増）
 生産量：4億7377万トン（同6.1%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：3008万トン（同7.6%増）
 輸出量：354万トン（同13.0%減）

25/26年度の砂糖輸出量はかなり大きな減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、575万ヘクタール（前年度比0.9%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、1）25年のモンスーンが収量向上に寄与したこと、2）マハラシュトラ州など一部地域で発生した洪水の影響が長期的ではないことと推測されるため、4億7377万トン（同6.1%増）とかなり

の程度増加すると見込まれている。

砂糖生産量は、主要生産州であるマハラシュトラ州、ウッタル・プラデーシュ州およびカルナータカ州でのサトウキビ増産と歩留まり（糖回収率）の上昇により、3008万トン（同7.6%増）とかなりの程度の増加が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、同国政府が26年9月30日までの砂糖輸出の原則禁止を公表したことなどから、354万トン（同13.0%減）とかなり大きく減少すると見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

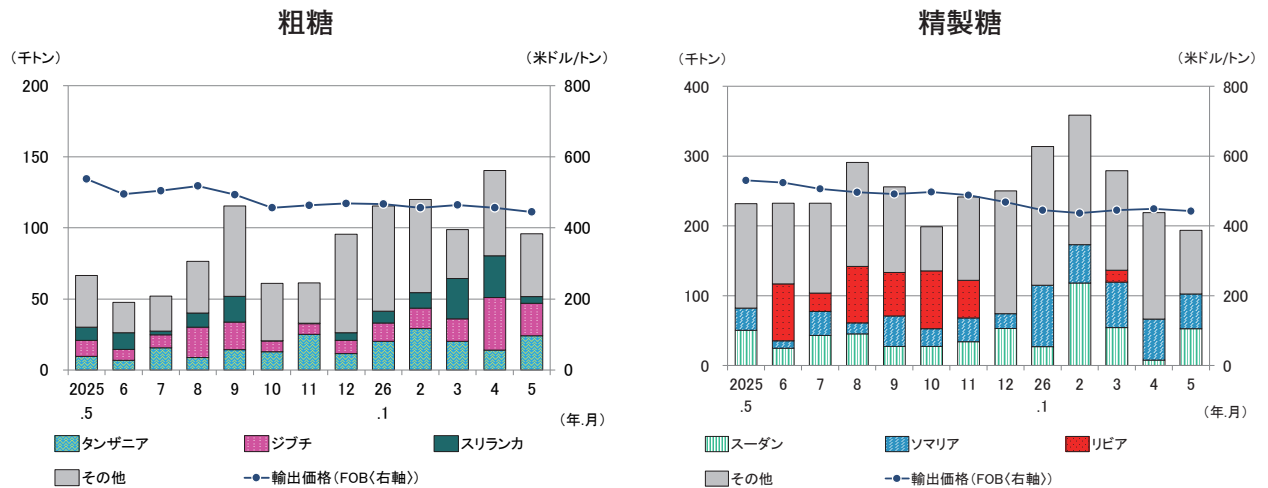
年度	2022/23	23/24	24/25	25/26 (7月予測)	25/26 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	598	589	570	575	575	0.9
サトウキビ生産量	50,411	48,656	44,671	47,377	47,377	6.1
砂糖	生産量	3,539	3,446	2,797	3,008	7.6
	輸入量	169	313	280	307	2.3
	消費量	3,008	3,099	3,002	3,024	0.7
	輸出量	865	438	407	369	▲ 13.0
	期末在庫量	629	851	519	441	▲ 16.0
	期末在庫率	16.2	24.1	15.2	13.0	2.3ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：125万ha（前年度比5.1%増）

生産量：9041万トン（同23.0%増）

【てん菜】

収穫面積：23万ha（同7.8%増）

生産量：1263万トン（同6.2%減）

【砂糖（甘しや糖およびてん菜糖）】

生産量：1402万トン（同16.2%増）

輸入量：517万トン（同20.1%減）

25/26年度の砂糖輸入量は大幅な減少見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、果実など競合作物より収益性が高いことから生産者が作付けを増加させたことで、125万ヘクタール（前年度比5.1%増）とやや増加すると見

込まれている（表）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省で収穫開始が遅れたが、生育が良好であったため、9041万トン（同23.0%増）と大幅な増加が見込まれている。25/26年度の製糖シーズンは、6月末まで作業を延長して

いた雲南省を最後に終了した。

てん菜収穫面積は、トウモロコシや大豆などの競合作物の需要低下で生産者がてん菜の作付けを増加させたことから、23万ヘクタール（同7.8%増）とかなりの程度増加すると見込まれている。一方、てん菜生産量は、単収の減少により1263万トン（同6.2%減）とかなりの程度減少すると見込まれている。また、米国農務省の報告によれば、主産地における豪雨や乾燥した気候がてん菜の生育に影響を及

ぼし、糖度の低下を招いたとしている。

砂糖生産量は、てん菜の減産以上にサトウキビの増産が見込まれているため、1402万トン（同16.2%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き国内の需給ギャップを埋めるために一定の輸入が予想されるが、国内生産の増加見通しから、517万トン（同20.1%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

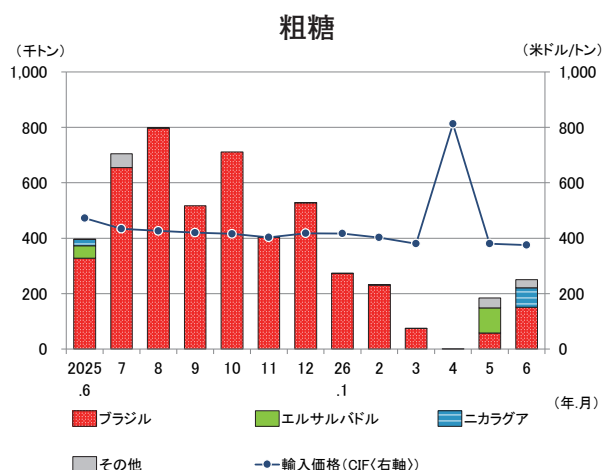
年度	2022/23	23/24	24/25	25/26 (7月予測)	25/26 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	110	110	119	121	125	5.1
サトウキビ生産量	6,260	7,313	7,354	9,039	9,041	23.0
てん菜収穫面積	18	17	22	23	23	7.8
てん菜生産量	857	894	1,346	1,266	1,263	▲ 6.2
砂糖						
生産量	970	1,076	1,207	1,396	1,402	16.2
輸入量	585	740	647	503	517	▲ 20.1
消費量	1,658	1,674	1,692	1,696	1,696	0.2
輸出量	20	18	17	14	13	▲ 22.8
期末在庫量	1,419	1,543	1,688	1,878	1,898	12.5
期末在庫率	84.6	91.2	98.7	109.9	111.1	12.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移

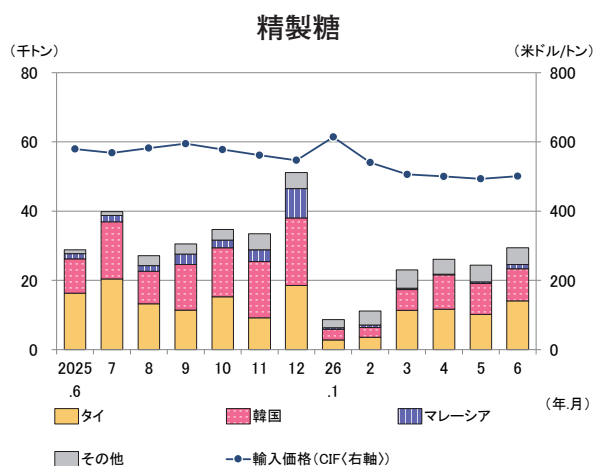


資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

注3：26年4月の粗糖輸入量は、千トン未満。



E U

2025/26年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：140万ha（前年度比10.7%減）

生産量：1億1151万トン（同4.3%減）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1740万トン（同1.3%増）

輸入量：187万トン（同24.5%増）

25/26年度の砂糖期末在庫量は大幅な増加見込み

2025/26年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に主産国での減少が見込まれることから、140万ヘクタール（前年度比10.7%減）とかなりの程度減少すると見込まれている（表）。てん菜生産量は、フランスやドイツで単収の増加が見込まれているものの、作付面積の減少により、1億1151万トン（同4.3%減）とやや減少すると見込まれている。また、EUおよび英国における26/27年

度のてん菜生産については、高温かつ乾燥した気候により、収量低下や病害虫発生リスクが高まっている。

砂糖生産量は、24/25年度と比較しててん菜の糖度が上昇したことで、1740万トン（同1.3%増）とわずかな増加が見込まれている。砂糖輸入量は、187万トン（同24.5%増）と大幅な増加が見込まれている中、消費量は前年度並みが見込まれている。この結果、期末在庫は、300万トン（同38.2%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

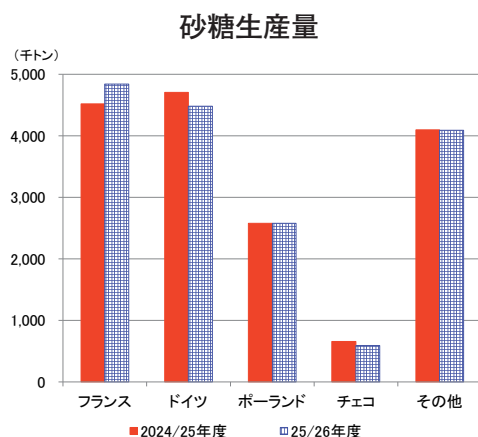
年度		2022/23	23/24	24/25	25/26 （7月予測）	25/26 （8月予測）	前年度比 （増減率）
てん菜収穫面積		140	145	157	140	140	▲ 10.7
てん菜生産量		9,976	10,990	11,650	11,151	11,151	▲ 4.3
砂糖	生産量	1,548	1,626	1,718	1,743	1,740	1.3
	輸入量	329	220	150	172	187	24.5
	消費量	1,727	1,633	1,638	1,637	1,638	0.0
	輸出量	90	209	209	206	206	▲ 1.5
	期末在庫量	191	196	217	289	300	38.2
	期末在庫率	10.5	10.6	11.7	15.7	16.3	4.5ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

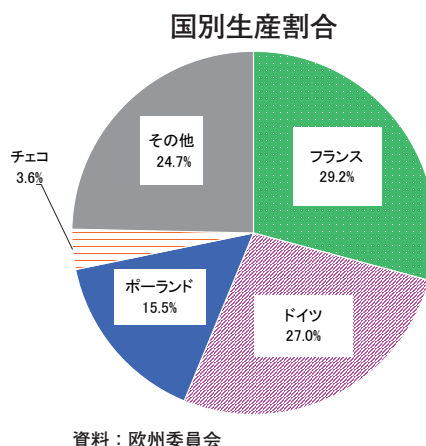
注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し (2025/26年度) (2026年6月時点)



資料：欧州委員会
注1：精製糖換算。
注2：数値は予測値。



資料：欧州委員会

4 日本の主要輸入先の動向 (2026年8月時点予測)

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖＜HSコード1701.14－110＞および甘しや糖・その他＜同1701.14－200＞の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2025年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.7%（前年比0.5ポイント増）、タイが9.3%（同0.4ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2026/27年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比0.3%増）
生産量：3004万トン（同4.1%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：407万トン（同3.9%増）
輸出量：309万トン（同3.4%増）

26/27年度の砂糖輸出量はやや増加見込み

2026/27年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、3004万トン（同4.1%増）とやや増加すると見込まれている。26年6月に製糖企業に対するサイバー攻撃、7月には降雨による収穫遅れが発生したものの、米国農務省の報告によれば、25/26年度の収穫が遅延することなく完了し、26/27年度は十分な生育期間を確保できる点が生産量の増加見込み

に寄与するとしている。

砂糖生産量は、サトウキビ増産とCCS^(注)の上昇により、407万トン（同3.9%増）とやや増加すると見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産に加え、アジア地域を中心に引き続き堅調な需要が見込まれることから、309万トン（同3.4%増）とやや増加すると見込まれている。

(注) Commercial Cane Sugar（可製糖率）の略。サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：万ha、万トン、%)

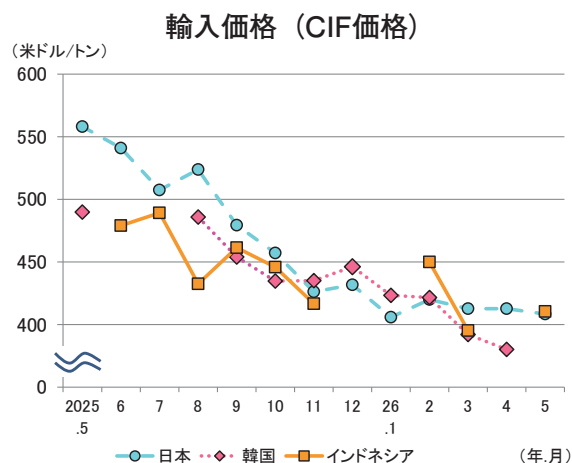
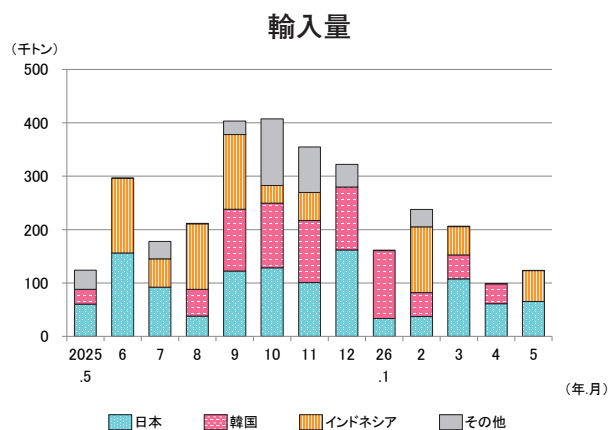
年度	2023/24	24/25	25/26	26/27 (7月予測)	26/27 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	34	32	34	35	35	0.3
サトウキビ生産量	2,986	2,880	2,887	3,000	3,004	4.1
砂糖	生産量	413	391	406	407	3.9
	輸入量	1.0	1.4	1.0	1.0	69.9
	消費量	97	98	98	98	0.5
	輸出量	370	290	309	309	3.4
	期末在庫量	45	50	45	45	0.1
	期末在庫率	9.6	12.8	11.3	11.0	0.3ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

注1：2024/25年度および25/26年度の数値は推定値、26/27年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖(粗糖)の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14 (粗糖) の数値。

注2：直近13カ月 (累計) の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その後は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：韓国の25年6月、7月、26年5月の輸入量は実績なし。

注5：インドネシアの25年5月、12月、26年1月、4月の輸入量は実績なし。

タイ

2025/26年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：157万ha (前年度比2.2%増)

生産量：1億586万トン (同15.0%増)

【砂糖 (甘しゅ糖)】

生産量：1264万トン (同19.5%増)

輸出量：855万トン (同25.8%増)

25/26年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2025/26年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、157万ヘクタール (前年度比2.2%増) とわずかな増加が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、収穫前の乾燥した天候が収量に有利に

働くことで、1億586万トン (同15.0%増) とかなり大きく増加すると見込まれている。26/27年度のサトウキビ生産については、26年1月以降の累積降水量の少なさやサトウキビの競合作物であるキャッサバの価格上昇による影響が懸念されている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCSの上昇により、1264万トン（同19.5%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景

に855万トン（同25.8%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 タイの砂糖需給の推移

（単位：万ha、万トン、%）

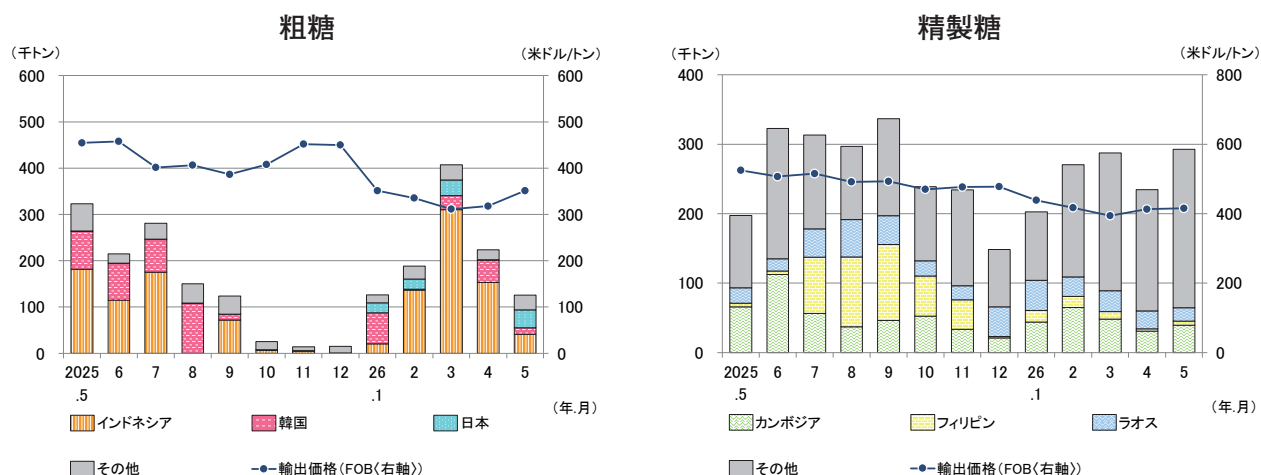
年度	2022/23	23/24	24/25	25/26 (7月予測)	25/26 (8月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	151	148	154	157	157	2.2
サトウキビ生産量	9,389	8,217	9,204	10,586	10,586	15.0
砂糖	生産量	1,169	932	1,265	1,264	19.5
	輸入量	28	25	3	2	▲ 94.4
	消費量	335	329	335	335	0.6
	輸出量	800	589	846	855	25.8
	期末在庫量	256	295	375	463	20.4
	期末在庫率	22.6	32.1	37.1	39.2	38.0
						0.9ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, August 2026」

注1：2023/24年度および24/25年度の数値は推定値、25/26年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。